

平成29年度(28年度実績) 総合評価書 <施設名 脇之島児童センター>

1 指定管理者名	特定非営利活動法人ワーカーズコープ
2 指定期間	平成28年4月1日 ~ 平成33年3月31日
3 業務の範囲	1 児童館の事業の実施に関する事。 2 児童館の維持管理に関する事。 3 目的外使用許可にかかる事務に関する事。 4 児童館運営委員会の設置、運営管理に関する事。 5 事業評価に関する事。

4 採点表

評価項目	細目	配点	採点基準	実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)	分析、評価、指示等	得点
1 運営・利用状況 (40点)	(1)利用状況 (10点)	10	①施設の利用率(利用時間/日数×営業時間) ②利用人数 平均値比(注) 105%以上:10点、 105%未満~95%:8点、 95%未満~85%:6点、 85%未満:4~0点	平均値比とは、当該評価対象年度の利用率を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 (1)指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用率の平均値 (2)2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用率の平均値(例:4年目の場合は、1~3年目の平均利用率) (3)新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により(1)、(2)によることが不相当であると判断される場合 他の類似施設における利用率実績に所要の調整をして算出した値	開館時間中(10:00~18:00)は、自由来館としている。	-
				平均値比とは、当該評価対象年度の利用人数を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 (1)指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用人数の平均値 (2)2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用人数の平均値(例:4年目の場合は、1~3年目の平均利用人数) (3)新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により(1)、(2)によることが不相当であると判断される場合 他の類似施設における利用人数実績に所要の調整をして算出した値 平均値比(上記(3)適用) ※今回は指定管理1年目の評価のため、本来は上記(1)を適用するが、25年度に利用人数のカウント方法を見直したため、算出に前指定管理期間(23~27年度)の平均利用人数を使うことは実態とそぐわない。従って、28年度の利用人数で25年度から27年度の3年間の平均利用人数を割ることで平均値比を求める。 $110\% \div \text{利用人数(延べ人数 20,820人)} \div 18,923人$	・小学校の児童数は減少しているものの、幼児期から続けて利用する子どもが多く、小学生の来館者率が増えている。 ・保育園入所が増え、乳幼児クラブ在籍の親子来館が減少した。 ・頻りに運動の為に利用していた高校生グループが進学し、中学生の来館が減少した。 【28年度】来館者数 20,820人 乳幼児 5,760人 小学生 10,082人 中学生 305人 大人 4,673人 【27年度】来館者数 19,985人 乳幼児 6,095人 小学生 8,137人 中学生 692人 大人 5,061人 【26年度】来館者数 20,444人 乳幼児 6,262人 小学生 7,900人 中学生 450人 大人 5,832人 【25年度】来館者数 16,341人 乳幼児 4,902人 小学生 6,067人 中学生 650人 大人 4,722人 ※来館者数と事業参加者は異なる数え方をしています。	10点
	(2)市の事業の企画・運営・実施状況 (仕様書内)(15点)	15	仕様書以上:15~12点、 仕様書に忠実:11~9点、 仕様書の一部不実施(軽微):8~7点、 仕様書の一部不実施(中程度):6~3点、 それ以下:2~0点	・乳幼児と保護者を対象とした事業(計61回開催、延べ1,037名参加) ・児童を対象とした事業(計82回開催、延べ1,728名参加) ・地域交流事業、多世代間交流事業(計2回開催、延べ225名参加) ・中学生対象事業(計3回開催、延べ10名参加) ・子育て相談事業と子育てネットワークづくりの推進(計26回開催、延べ108名参加) ※別紙:事業評価表 参照	仕様書以上 13点	・仕様書の事業をすべて目標回数以上行い、適正に実施した。 ・乳幼児の事業では、民間の保育所を訪問するなど、母親の就労に向けた支援を視野に入れた事業に取り組んでいる。
(3)自主事業の企画・運営・実施(15点)	15	内容・事業数等が期待以上:15~12点 例年通り:11~9点、 例年よりやや劣る:8~7点、 例年より劣る:6~3点 例年よりかなり劣る 2~0点	・乳幼児と保護者を対象とした事業(計65回開催、延べ881名参加) ・児童を対象とした事業(計58回開催、延べ543名参加) ・地域交流事業、多世代間交流事業(計53回開催、延べ1,287名参加) ・中学生対象事業(計8回開催、延べ26名参加) ・子育て相談事業と子育てネットワークづくりの推進(計10回開催、延べ84名参加) ※別紙:事業評価表 参照	期待以上 13点	・全体的に各事業項目についてバランス良く実施し、地域と連携した事業を多く行った。 ・親子ヨガサークルやおみせやさんごっこ等の新事業を取り入れた。	13点

4 採点表									
評価項目	細目	配点	採点基準	実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)		分析、評価、指示等		得点	
2 施設管理状況 (25点)	(1)施設管理業務の実施状況(10点)	10	①チェック細目の丸数字の各項目を3段階評価する 適正(普通):2点、一部不備あり:1点、不備あり:0点 ②5項目の合計点とする。 ※駐車場は、期待以上:8点、適正(普通):6点、一部不備あり:4点、不備あり:2点	屋内・トイレの清掃:毎日 ガラス・備品の清掃:週1~2回 照明器具の清掃:随時 館庭の清掃:毎朝の定期清掃(雨天を除く)、日常清掃を実施。 駐車場を含め、児童館周辺の側道まで、こま目に様子を見て清掃している。	適正(普通) 2点	仕様書に定める回数、実施している。		10点	
				電気工作物、運動遊具の保守点検は委託により実施。パソコンは随時点検。	適正(普通) 2点	法定点検、日常点検ともに、適正に実施している。			
				非常通報装置・消防用設備については、警備会社に委託により実施。	適正(普通) 2点	適正に実施している。			
				①床面ワックスがけ(25,920円) 以上については、10万円未満であったため、仕様書の定めにより、指定管理者の負担で修繕を行った。	適正(普通) 2点	修繕箇所が発生した場合は、遅滞なく対応がなされている。			
				毎月の定期点検により危険箇所の有無について確認。また、学校や民生児童委員、交通安全協会等と連携し、最新情報の共有をしている。近隣の空き地や駐車場・横断歩道等、使い方について日頃より伝えている。館内にハザードマップを掲示している。	適正(普通) 2点	日常の業務の中で、危険箇所を把握し、適正に対応されている。			
	(2)その他管理業務の実施状況(15点)	15	①チェック細目の丸数字の各項目を4段階評価する 期待以上:3点、適正(普通):2点、一部不備あり:1点、不備あり:0点 ②5項目の合計点とする。	文書目録を作成し、重要書類はすべて、鍵のついたスチール棚に保管。	適正(普通) 2点	文書目録を作成し、それに基づき適正に管理されている。		10点	
				「節電・節水に努める」 利用者のいる部屋のみ照明をつける、使用していない電化製品のプラグは抜く、冷房の設定温度を28度に設定、プール遊びで残った水を打ち水にし暑さ対策をする、夏は高窓を開け風通しを良くする、冬は床にマットを敷くなど、季節に合わせた環境設定でエネルギーの浪費を抑えている。 「廃材や消耗品の再利用」 紙はリサイクル紙を利用し、関係機関への連絡はメールを利用している。小学生クラブにおいて、定期的に公園の掃除を行っている。工作ではトイレトペーパーの芯や古新聞等の廃材を積極的に使用している。	適正(普通) 2点	適正に実施している。			
				廊下の障害物を撤去し、スペースを確保している。	適正(普通) 2点	適正に実施している。			
				備品台帳の原本は子ども支援課で保管。コピーを適正に管理している。年1回照合。	適正(普通) 2点	適正に管理している。			
				特定非営利活動法人ワーカーズコープとして『個人情報保護規定』を作成し、情報は施錠保管の上管理している。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。			
				11月に1件。小3男児が館庭スロープにて鉄棒の後ろ回りをした。それにより後頭部を下のタイルで打ち、病院にて7針縫う怪我を負った。	事故なし・対応に不備なし 0点	ワーカーズコープとして保険に加入している。			0点
⑥事故等への対応	0	事故等への対応は減点対象とする 事故なし及び事故等の対応に不備なし:0点、 事故等の対応に不備あり:△1点							

4 採点表		評価項目	細目	配点	採点基準	実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)	分析、評価、指示等	得点	
3	当該施設の経営状況 (5点)	①事業収支	5	当該年度の収入÷支出が、 105%以上:5点、 105%未満~100%:4点、 100%未満:3点	収入11,023,373円 ÷ 支出 10,247,857円 ≒ 108%	105% 以上 5点	経営努力により経費削減をおこなった。	5点	
4	より良い施設 運営のための 取組 (30点)	(1)市民・利用 者の声の反映 (15点)	①ニーズの把握・事 業への反映	10	期待以上:10~8点、 適正(普通):7~5点、 不備あり:4~1点	・窓口意見箱を設置するとともに、前後期のクラブ終了時や、行事開催後などにアンケートを実施。また、中高生会議など、感想・意見を聞く場を設けた。 ・保育園訪問の機会を増やした。 ・学校、幼稚園の休暇や行事を把握し、その日を考慮した事業日設定をしている。 (小学校振替休日は、児童が利用できるように開館する等)	期待 以上 8点	・定期的なアンケートの実施や、利用者の意見を聞く機会を設け、事業に反映させている。 ・独自に利用者のニーズを聞く機会を設けている。	8点
		②苦情対応	5	期待以上:5点、 適正(普通):4点、 不備あり:3~1点 ※苦情なしは4点とする	苦情なし。	苦情なし・適 正(普通)4 点	ワーカーズコープとして、苦情解決第三者委員を設置している。	4点	
4	より良い施設 運営のための 取組 (30点)	(2)より良い施設運営・事業実施のための提案・姿勢、上記1~3の評価に反映されないその他の成果ポイント (15点)	15	提案、姿勢、その他の成果ポイント(アピール)が 期待以上:15~12点、 適正(普通):11~9点、 普通未満~物足りない:8~0点	・一般利用者の代表も運営委員に加え、利用者の声を積極的に受け入れている。 ・館内トラブルが起こった際、学校・主任児童委員・SSWによるケース会議に出席し、今後の方針について話し合った。 ・施設管理に一番重要な人員確保の為に、常時勤務する以外の有資格臨時登録者を完備し、大きな事業や学校休業日・長期休暇中など来館者の多い場合や急な職員の欠勤に対応できるようにした。 ・NPO法人ワーカーズコープでは、『子ども・放課後等デイプロジェクト』を組織し、子育て・子育て・障がい児支援の大規模な研究交流を行っている。(28年度…6/28・2/10~11)また11/26~27「全国コミュニティーケア集会」2/25~26「ワーカーズコープよい仕事集会」子育て分科会のほか、年間全国規模の研究交流会を計10回開催。 ・下記の研修会に参加し、伝達研修を行った。 5/20健全育成専門セミナー・6/14~17児童厚生員等基礎研修会(主催:児童健全育成推進財団) 9/12館長研修会・11/2児童館職員等研修会(主催:岐阜県児童館連絡協議会) 7/3ぎふ木育指導者スキルアップ講習(主催:岐阜県恵みの森づくり推進課) 9/7地域子育て支援拠点研修(主催:東濃地域子育て支援センター) 5/23普通救命救急講習(笠原消防署)・2/28防火管理者講習(多治見市消防本部)	期待 以上 14点	・地域行事や会議への職員の参加や、地域との積極的な連携を行っている。 ・アレルギーのある児童について、保護者と綿密な打ち合わせを行い、他の児童と同様な活動(体験)が出来る様に対応している。 ・全国組織である点を活かし、様々な研修に参加し、それを共有することで職員の資質向上に努めた。	14点	
5	その他 (減点方式)	(1)報告書類の提出状況	0	提出書類の遅れ・不備に応じて減点対象とする(遅れ・不備内容の程度により△1~△3点) 一部遅れ・不備あり(軽微):△1、 一部遅れ・不備あり(中程度):△2、 一部遅れ・不備あり(それ以下):△3	提出書類の遅れなし。	遅れ・ 不備なし 減 点なし	適正に実施している。	0点	
		(2)市からの指示等への対応(報告書類の提出以外)等	0	指示への対応等に応じて減点対象とする(対応等の内容により△1~△3点) 指示等なし・対応等が期待どおり:減点なし、 対応等が期待以下(軽微):△1、 対応等が期待以下(中程度):△2、 対応等が期待以下(それ以下):△3	指示は特になし。	指示 等なし・対 応等が期 待どおり 減 点なし	適正に実施している。	0点	
		合計	100	【4段階評価】 極めて良好100~85点 良好 84~65点 努力が必要 64~45点 取消し等を検討44点以下			全体的な評価 ・概ね良好な管理がされている。 ・参加者の満足度、地域との連携など概ね良好である。	87点 極めて 良好	